



マスクの中に大きな希望を秘めて！(大石田中学校入学式4/7)

おおいだ 議会だより

No. **164**

2020.4.25

山形県大石田町ホームページ
<https://www.town.oishida.yamagata.jp>



携帯・スマホから
アクセス！

- ◆ 第1回定例会
(3月3日~12日)
- ◇ 第1回臨時会
(1月30日)
- ◇ 第2回臨時会
(3月25日)

尾花沢市消防署大石田分署完成	2
令和2年度予算可決	4
「町の考えを問う」一般質問6人	10
「追跡」大浦2号線道路改良	17
趣味に生きる	20



町民の生命 財産を守る

尾花沢市 消防署大石田分署完成!

町消防委員会の答申に基づき、浸水想定区域外で町内全域へ、より早く到着できる場所として、朝日町地内に総工費3億4100万円をかけて新大石田分署を建設し、この度完成しました。

1階には救急車配備を見据えた車庫と救急資器材室・洗浄室を設置。2階は毛布や食料などの備蓄倉庫、災害対応拠点となる会議室があります。屋外には操法訓練場が整備され、町民の安全を守る施設として大いに期待します。

これまで懸案事項だった分署長の配属も町民の要請に応え、常勤の配備が復活しました。

今後、町の防災拠点として、町消防団との連携のもと、火災時、災害時にその機能を十分に発揮してくれるものと期待します。

【記 大山】



敷地も広く操法訓練もできます



新しい施設は最新の設備



大石田町の安全を祈る(3/27安全祈願祭)



令和2年度予算

予算の審議は、予算特別委員会を設置し詳細にわたり審査を実施。その結果、全議案について全員賛成で可決しました。

「こころ豊かに幸せ感じるまちづくり」の実現を目指し、駅周辺環境の整備や町独自の地方創生関連事業、社会保障制度の充実、流雪溝整備事業などを推進し、町民・地域・行政が力を合わせたまちづくりを進める予算となっています。

総額約

68億1千万円

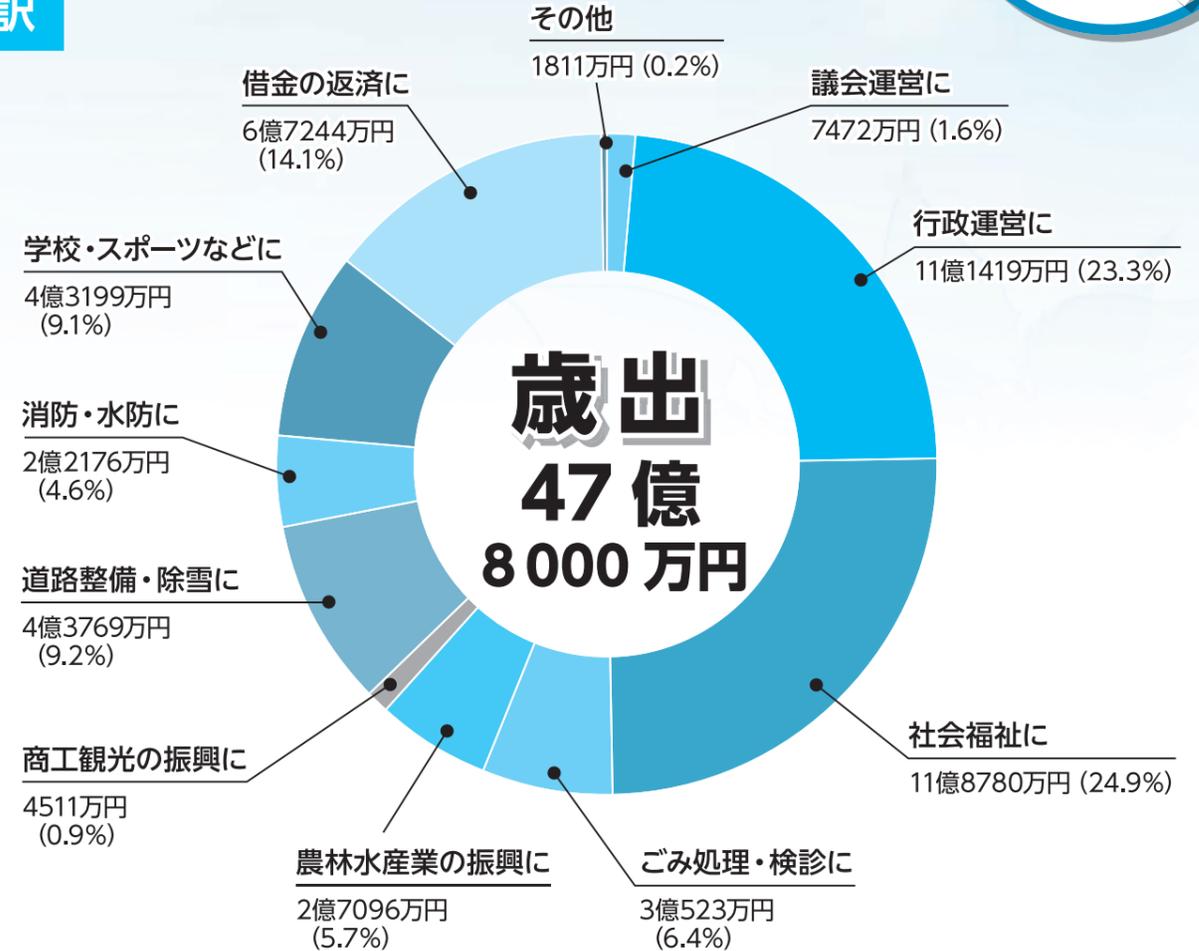
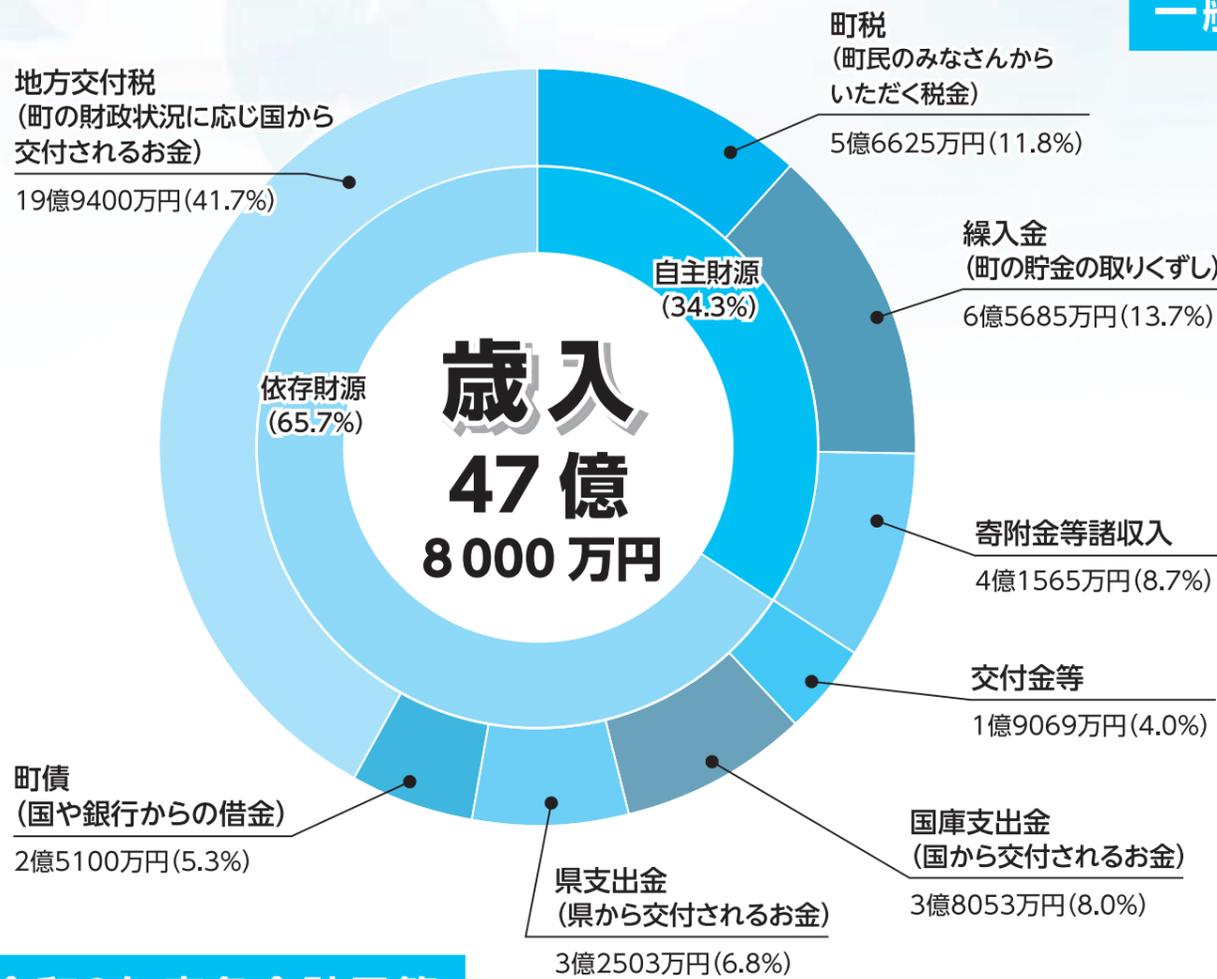
一般会計予算

約47億8千万円

(前年比▲1億2500万円)



一般会計内訳



令和2年度各会計予算

会計区分	一般会計	特別会計	特別会計						後期高齢者医療
			国民健康保険	次子簡易水道	学校給食事業	農業集落排水事業	介護保険		
予算額	47億800万円	20億3040万円	8億3840万円	650万円	9030万円	9280万円	9億220万円	1億200万円	
前年度比	▲1億2500万円	▲3080万円	▲710万円	▲50万円	▲60万円	▲1430万円	▲1850万円	1020万円	

主要事業

- ふるさと応援基金事業……4億8392万円
- 町民交流センター施設管理……3262万円
- 知的障がい者自立支援給付事業…9964万円
- 児童手当支給事業 ……8440万円
- 多面的機能支払交付金事業 ……5772万円
- 尾花沢市大石田町環境衛生事業組合負担金 ……1億7561万円
- 道路除雪事業 ……1億1968万円
- 消防本部設備整備事業 ……2000万円
- 教育管理費(小中学校) ……1億2067万円

苦境に対応する

4 7億8千万円(一般会計) 「しなやかな予算」



齋藤 公一 委員長

予算特別委員会において新年
度予算の審査を行い、一般会計
及び各特別会計とも原案のと
おり可決すべきものであると芳賀
議長に対して報告しました。

一般会計予算 〔全員賛成〕

大山 二郎 委員

ふ るさと応援基金は
恒久的な財源では
ない。減った時は予算を
削るのか。
町長 様々な基金を繰り
入れてやらざるを得ない
状況になる。

交 流センターを有効
活用するためにも
町の演劇サークル等を支
援し、もっと多く公演が
できるような方向性を考
えるべき。
教育長 町民も劇団員と
して活躍できる場を設け
ることは大変大切な視点
と考える。代表にも相談
して、町民の力を引き出
し、良さを伸ばしていき
たい。

副 食費の補助は、0
歳児からの全園児
を対象とすべき。
町長 潤沢な財源を確保
できるのであれば考えた
いが、現段階では難しい。

二藤部冬馬 委員

新 規に配置される地
域学校協働活動員
を、部活とスポ少の連絡
調整などにも役立てるべ
き。成長期の子どもに部
活とスポ少の負担がかか
りすぎ、ケガにつながる
こともある。
教育長 学校の部活とス
ポ少団体とで話をすべき
これまでの慣習を話し合
わなければ解決しない。
地域と学校の結びつきを
組織化するという役割の
中で関連して行くことは
あるかもしれないが、現
時点では考えていない。

前 副町長が官製談合
や贈収賄で逮捕さ
れ、いろんな起債の返還
が求められる事態になる。
町長をはじめ職員、議会
も一致団結して難局に立
ち向かわなければならな
い。

総務課長 虹のプラザ関
係では多額の借金がある
もし繰上償還と言われて
もするすべがない。30年
間で返させてもらうこと
を願うしかない。

村形 昌一 委員

財 政再建団体になっ
た場合、当町への
影響は。
町長 そうならないよう
に努力するしかない。

国 土強靱化計画は
つ策定するのか。
総務課長 年度明けに業
者の選定をし、とりかか
りたいと思うが、できる
だけ早く策定したい。



本格的な演技で魅了する劇団「プロジェクト虹」(2019公演)

今野 雅信 委員

キ ッズタウン事業な
どへの補助金が2
年度はなくなる。良いイ
ベントを続けていくため
にはどうすればいいと考
えるか。
町長 補助金は初めの起
爆剤的な意味がある。今
後は違った制度を活用す
るなど、でき得ることを
やっていく。

生 活支援補助のプレ
ミアム商品券は、
商工業の閉塞感や新型コ
ロナウイルスの影響があ
る中、20%の上乗せにで
きないか。支援対象も高
校生がいる世帯まで引き
上げるべきでは。
町長 今年予算では15
%で支給する。国の補助
があれば、プラスするこ
とはあると思う。支給対
象は医療費無料も高校生
まで引き上げになったこ
ともあり、検討したい。

小玉 勇 委員

空 き家を直接除去す
る予算があるが、
町として今後何軒ぐら
い壊していくと考えてい
るか。
まちづくり推進課長
空き家117軒のうち、
利活用が不可能な23軒を
対象に考えている。状態
の危険度や、解体後の地
区の管理など総合的にみ
て計画を立ててやってい
く。

10 年ぐらい前から空
き家対策の話をし
てきたが、ようやく県の
補助をもらえるようにな
った経緯は。
まちづくり推進課長

一歩も前に進めない状況
だったが、近隣への危険
性を考え、何とか対策を
講じるべく予算化した。



楽しい仕事の体験(2019キッズタウン)

雪不足 悲喜こもこも



3年間ありがとうございました(遠藤さん・香坂さん)

一般会計 【全員賛成】

町道除雪

大山二郎 議員

前例のない異常気象の暖冬。オペレータ確保のため待機料を予算化したが、今年だけの措置なのか。町長 今年のような暖冬が今後あれば、その時には考えなければと思う。

一億円を超える額で道路維持管理組合と随意契約している。手法に問題はないのか。

町長 概ね整合性はとれている。単に価格だけではなく、特殊作業は必要なスキルも求められる。

岡崎 英和 議員

道路維持管理組合に参加できる条件を満たしているにもかかわらず、入れてもらえない企業があると聞くが。

町長 重々承知している。

地域おこし協力隊

村形 昌一 議員

初代隊員2名が退任する。彼らに対する町長の感想は。

町長 3年間、町のPRや様々なイベント、「K OENOKURA」の運営など本当に良い仕事をもらった。

必要なスキルを持ち合わせているか見極めながら、話をしていきたい。

スポーツ奨励金

岡崎 英和 議員

当町にも、日本を代表して世界を相手に戦うアスリートが出てきた。ワンステップ上の国際大会での結果に基づく奨励金要綱を設けるべきではないか。

町長 様々な規定もあるが、財政をみながら考えていきたい。



世界で戦う奥山華波さん

町営アパート

大山二郎 議員

著しく老朽化したところもあるというが。

町長 修繕不可能なところは、順次閉鎖していくことも考えている。

駅前旧福島さん跡地、有効活用は。

町長 まずは計画を立て、決まれば報告していく。現在は新しい公営住宅の建設は考えていない。

移住支援金

今野 雅信 議員

移住政策は重要な事業。今年も移住者はゼロだったが。

町長 アピールできることを全面に出し、引き続き推し進めたい。

地域おこし協力隊へ頼りすぎているように見える。町主導のもと、オール大石田で取り組むべき。町長 担当課を中心に、必要な組織と連携を図り取り組みたい。

大沼デパート破綻

岡崎 英和 議員

県が主導する特別融資制度。町内に該当者がいると聞いたが、町も乗せしての融資を判断した経緯は。町長 これまでに類をみない破綻。他市町村同様特別融資制度は人道的にも対応すべきと考える。

国民健康保険税条例の一部改正【全員賛成】

遠藤 宏司 議員

被保険者の負担割合が引き下げられたが、それでも県内で2番目に高い税額だ。その認識はあるのか。

町長 当然承知している。

小玉 勇 議員

税負担の引き下げは県内で当町と庄内町のみだと聞いたが、現段階でどう判断したのか。

町長 被保険者の所得や医療費など、負担額を決定するための要素が複雑。市町村で一概に比較できないが、試算により判断した。

職員等の旅費に関する条例の一部改正【全員賛成】

大山二郎 議員

規定があるとはいえ、地理的、時間的に無理な出張命令はすべきではない

次年度簡易水道特別会計【全員賛成】

村形 昌一 議員

各そば店が盛況だったため、水道使用量が増えた。観光振興の面から考えても、町としてもう一手打つべきなのは。

町長 そば三街道としての取り組みや、地域振興公社としてできることなど考えていく。

と思うが。町長 当然、常識の範囲内で命令していく。

駅都市施設の指定管理者の指定【全員賛成】

大山二郎 議員

赤字経営の地域振興公社が指定管理者を続けることに違和感を覚えるが。町長 駅舎内に「ふうりゅう」もあり、町の玄関口として、引き続きやっていただきたい。

岡崎 英和 議員

喫煙所が撤去されると聞いたが、どこかの判断によるものか。町長 町の判断で撤去することになった。



ただいま休業中(ふうりゅう)



小学校統合をどう考えるか

今野 雅信 議員

当面は3校存続で
状況の推移をみていきたい

町長



雨漏りもひどい(商工会館)

町産業の課題
インバウンド客へのビジネスアクションを起こすべきでは。
町長 まずは駅周辺の「食」をテーマに割引券やスタンプラリーなど計画している。商店と協力してやっていきたい。
商工会館老朽化問題、商工会との情報連携を。
町長 町としては空き家・空き地情報を提供していくが、商工会の検討委員会では決定してほしい。

子育て支援強化
インフルエンザ予防接種助成、期間の延長は。町長 要望があれば延ばすのは問題ない。
町長 検討していく。
修学旅行助成金の今後は。
町長 保護者から、より利用しやすいように意見を聞きながら対応していく。

小学校統合問題
統合までのプロセスは。町長 小学校統合は避けては通れない問題。統合に向けた基本的な考え方を明確にした上で、計画策定に向けて取り組んでいきたい。
教育長 前回の統合が急ぎすぎたとの反省を踏まえ、来年度、統合に向けた準備として3校の連携強化を積み重ねて、統合を考えていきたい。

SDGs持続可能な開発目標
大石田町での展開は。町長 総合振興計画や総合戦略の改定の中で、理念を取り入れて施策に生かしていく。
コミュニティスクールなどで熟議をし、情報の提示を。
教育長 皆さんの声を聴き、町民にお知らせをしていく。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

SDGs (エスディージーズ)
※持続可能な開発目標の略称
※世界を変えるための17の目標

町の考えを問う

6人の議員が一般質問

今野 雅信 議員

- ◆小学校統合をどう考えるか
- ◆持続可能な開発目標(SDGs)大石田町でも取り組むべき
- ◆町産業の課題解決をどのように取り組むのか
- ◆子育て世代への支援強化、今後の展開は

11ページ

遠藤 宏司 議員

- ◆少子化対策の施策をさらに強化する考えは
- ◆前副町長の汚職事件への対応は
- ◆少雪対策について

12ページ

村形 昌一 議員

- ◆民間活力を導入し子育て応援住宅の整備を
- ◆山交バスの乗車率の向上を
- ◆透明な入札制度を

13ページ

小玉 勇 議員

- ◆新型コロナウイルスの広がりが心配だが、どのような対策を考えているのか
- ◆現行の入札制度の見直しは考えているのか

14ページ

二藤部 冬馬 議員

- ◆令和2年度公立学校働き方改革の具体策は
- ◆新型コロナウイルス対策は

15ページ

大山 二郎 議員

- ◆町長のビジョンを聞く
- ◆町の諸問題について考えを聞く

16ページ



答弁する村岡町長

一般質問とは…

大石田町の様々な課題等について、議員が町に考えを聞くことを言います。質問内容は議案とは関係なく自由に決めます。議席は対面式になっており、町長と向かい合い質問します。一人当たりの持ち時間は1時間。



子育て応援住宅建設の優先度は

村形 昌一 議員

他の施策と比べても高い

町長

子育て応援住宅

民間活力を導入し整備してはどうか。
町長 人口減少に歯止めがかからない現状において、子育て世代が必要とする住宅の整備は最優先課題のひとつだ。

職人の町の技術継承からも町内の大工さんに立派な建物を作ってもらったらどうか。
町長 そういった観点も考えていく。



子育て支援住宅(大蔵村)

山交バスの運行補助

これまでの経緯は、町長 赤宇路線のため、国県の補助が打ち切られ廃止したいとのことだったが三市一町で話し合い、自治体が運行を補助し継続していくことになった。当町は238万円補助だが全体の負担割合は、町長 路線の距離により、大石田町の割合は28%。1日15人乗れば国県の補助金が出る。利便性を高め乗車率向上できないか。
町長 現状が5人程度なので厳しい。



なぐなぐ困るや〜(本町バス停)

透明な入札制度を8年前に入札制度改革に取り組んだにもかかわらず、また不正が起きたが、町長 今回の件は、一言で言えばモラルの欠如以外の何ものでもない。職員には研修を通してモラルの向上に努めてもらいたい。
町長も副町長と互いに責任感をもって不正のない入札になるよう監視し合うべきではないか。
町長 これまでの経緯を

踏まえ考えていきたい。条件付き一般競争入札と町内業者育成の両立は、町長 公正な入札で町内業者の育成ができればと
入札監視委員会をどう評価し、今後も続けるのか、町長 不正を見破る組織ではない。公正の確保のため機能している。各界からいろんな意見を聞き、不正が起こり難いやり方がないか検討していく。襟を正して業務を行っていただきたい。



更なる負担軽減を

遠藤 宏司 議員

子育て・福祉では軽減できた

町長

少子化対策を強化

国民健康保険税の子どもの均等割は、人数分だけ2倍3倍と負担が重くなる仕組みだ。子どもの均等割を廃止することは考えられないか。
町長 国保税施行令の規定により均等割りは廃止できない。

小中学校の給食費を尾花沢市では半額補助している。子ども人数分だけ負担になる給食費を無料にできないか。
町長 町と保護者の負担は従来どおりと考えている。現状では時期尚早との考えである。

汚職事件の対応

前副町長の汚職事件などが頻発した。町民から信頼される町政を取り戻すための対策は、町長 これまでどおり少しずつ実直に町政を行っていくしかない。私の政治信条とする「町民目線の町づくり」を基本に、職員一丸となって日々の業務に邁進することが信頼回復の道と考える。

前副町長が制度化した「入札監視委員会」の廃止を含め入札制度を抜本的に見直すべき。



いつもの大石田町の冬(2017年1月・南通り)

町長 「入札監視委員会」の設置により、職員の入札事務執行にかかる知識や姿勢が向上したと評価している。現段階での廃止は考えていない。

少雪対策について

百年に一度とも言える雪の少ない冬になり、除排雪業者に具体的支援が必要だが、対策は、町長 除雪オペレータの育成、確保のためにも除雪待機料を支払う。



働き方改革の具体策は

二藤部 冬馬 議員

意識の改革を促して 対策を進めていく

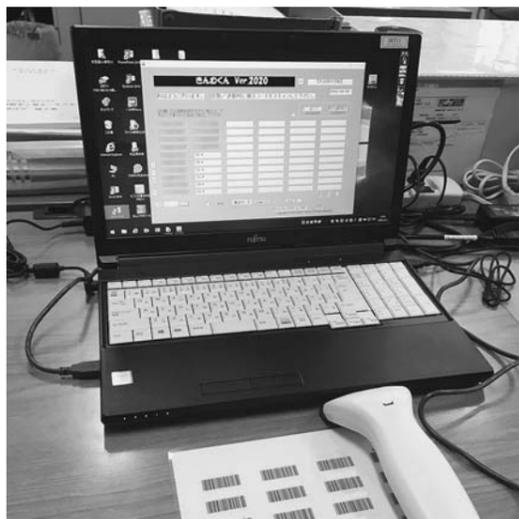
教育長

働き方改革の具体策
文科省は公立学校教職員の超過勤務時間の上限「月45時間、年360時間」を指針にした。町立学校の働き方改革具体策は。

教育長 「勤務時間に対する意識の啓発と管理」「教員が担うべき業務の明確化と適正化」「適切な部活動の推進」「教員の事務負担軽減」「保護者・地域への周知と地域人材の活用」の5つの視点について進めていく。

働き方改革の具体策
業務削減や外部人材補充の根拠資料となる、勤務時間管理が改革の第一歩。現在の管理方法は。

教育長 自己申告方式で行っている。平成31年4月の労働安全衛生法の改正により、タイムカードやICTの活用などによる「労働時間の客観的な把握」が教育委員会の義務とされているが。



4月から使用開始(きんむくん)

新型コロナウイルス対策
新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されている。町民への情報発信、学校での対応は。

町長 対策本部を設置し、取り組んでいる。情報の即時性の観点から特にホームページによる最新情報の提供を行っている。教育長 国や県からの依頼を受け、感染リスクに予め備える観点から、小中学校ともに卒業式まで臨時休業をすることに決定した。日々状況が変化し、追加的な対応も予想されるが、知恵と勇気を結集し乗り切っていく。



消毒はこまめにしましょう(役場内)



当面の間、休業となります(銀山温泉)

町の対応策は
銀山温泉の最寄り駅として外国人客も多く危険も大きいのではないかと。町長 平成30年の中国人観光客は約900人と伺っている。国によると水際対策が基本と考えているが、すでに国内いたるところで発症し、現在は全く機能していない。町の対応はどうなっているのか。

町長 3月4日に感染症対策本部を設置し、6日に第2回本部会議を開き、当面の対応を決めている。具体的な対応は。町長 町の事業・イベント等の変更。各施設の利用形態を変更し、周知した。住民への注意喚起や各区長へ地区総会自粛要請のチラシを配布した。放課後児童クラブの利用状況等の確認をしている。3月末は各地区の総会があるが、地区によって対応が違っている。町で統一に指示できないのか。



観光客も学生もいない(大石田駅)



新型コロナウイルスの感染は大丈夫か

小玉 勇 議員

国の動向を注視して 対策を検討する

町長

汚職事件について
県内市町村では初となる「入札監視委員会」を設置したにもかかわらず同様の事件が起きてしまった。どう認識しているのか。

町長 今回の不正事件は「入札監視委員会」では防ぎきれない事例であり、そもそも委員会の職務の範疇を超えたものである。個人のモラルハザードでは済まないと思うが。町長 公共の福祉に携わる以上、不正に加担し公共の秩序を乱す行為はあってはならない。今回の事件が加重取賄、官製談合など入札に関わる不正行為があったことは、業者との間に何らかの共通の思惑があったものと考えられる。委員会の目的となっている「透明性、公平性の確保」とは違う。不正の入り込めない環境の構築に今後とも努力していく。

刑の確定後、法に則り町の汚名と経済的損失の回復に努めなければならない。



町長の重点施策は

大山二郎 議員

子育て支援と雪対策 町長

町長のビジョンは

町の将来をどう考え、予算にどう反映しているか。また、優先順位は。町長 町民目線でまちづくり、町民と常に対話をもち、行政と町民が協働で作りを上げる町を目指す。また、中期的な計画については振興実施計画に明示している。

民生諸問題について

優先順位の問いに、子育て支援と雪対策と言うが、具体的には。町長 子育て支援は高校生までの医療費無料化。雪対策は地区の高齢者宅の除雪を、小型除雪機を持つている人が除雪するといった共助の仕組みを

商業対策について

町の商業指導育成とは。町長 商工会や金融機関

起業やベンチャー企業を誘致する。③民宿経営希望者を募集する。このようなことを実行すれば、人口減少対策にもつながるのでは。町長 提案された事業を参考に、空き家バンクを活用し、事案により個別に対応していく。

と連携した支援体制により、既存企業の体質強化を促進したい。建設土木業者の指導育成は、仕事の実績を上げ、県の経営事項審査のランクを上げ、他地区の入札にも参加できる力をつけること。地元の仕事は単独できないとき、大手と組ませて仕事ができるようにすることなどが町の指導育成と思うが。町長 できることはやっていきたい。



園児減少の中、今後は(大石田保育園)



活用が期待される空き家(本町地内)

町道大浦2号線 改良工事完成!

平成23年2月大浦区長と公民館長連名で当時の小林議長宛てに道路改良を求める請願が提出され、同年3月議会において願意妥当で採択となった。

以来、町と地区との話し合いを重ね、9年ほどの歳月が過ぎ、ようやく令和元年9月20日に完成となった。工事期間は令和元年6月24日から9月20日まで。費用は約890万円。延長765mの工事となった。

とりわけ冬期間は道が狭く、除雪に苦労していたがこの改良により公民館までスムーズに行き来できることになり、地区民にも町民全体にとっても利便性のアップにつながった。

町内にはまだまだ不十分な箇所がある。今後も解消に向けて努めていかねばならない。

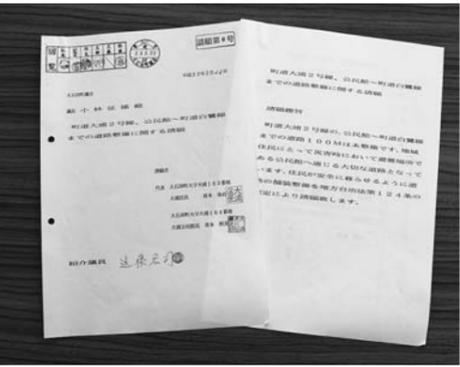
【記小玉】



こんなにきれいになりました(大浦地内)



改良前の状況



大浦地区からの請願書(H23. 2)

請願

沖縄県民投票の結果を尊重して辺野古新基地建設を見直し、普天間基地の代替施設が必要であるならば、国民的議論と民主主義及び憲法に基づく国会議論により公正に解決すべきと国に求める意見書の提出に関する請願

- ◆請願者 山形県鶴岡市 漆山ひとみ
- ◆紹介議員 小玉 勇
- ◆請願項目
 1. 沖縄県民投票の結果を尊重し辺野古新基地を見直すこと。
 2. 危険な普天間基地の運用を早急に停止すること。
 3. 全国の市民が、安全保障体制のもとに生きる一員としての責任を持って、米軍基地が必要か否か、当事者意識を持った国民的議論を行うこと。ほか。

賛成少数
(賛成2：反対7)



討論

反対

岡崎英和 議員

何より請願提出先が県内で、当町を含め2市1町。他の都道府県においても同様の対応から、請願文中にある「国民的議論」を望む姿勢には到底思えない。この請願の採決には反対する。

議会での討論とは？

議案の採決の前に、反対、賛成の意見をその理由を明確にして表明することで、態度を決めかねている人を自分の意見に同調させるため行うことです。

賛成

小玉 勇 議員

野村浩也氏（大学教授）が平等について「無意識の植民地主義」を通して話しています。「なぜか日本人の多くは、なんとなく沖縄には基地があつて当たり前、それどころか自分たちのところには基地がないのは当たり前と思つていて、これを差別と言つています。日本人は、基地を押し付けている責任から逃れられない。」以上のことを考えるとき、この請願はきわめて当たり前であると思う。一地域への一方的な押し付けとならないよう議論し、公正で民主的な手続きにより解決する以外にない。



意見書

新たな過疎法の制定に関する意見書を提出

全員賛成

◆意見書要旨◆

昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、4次にわたり総合的な過疎対策事業が実施されてきた。しかし依然として多くの集落が消滅の危機に瀕し、極めて深刻な状況にある。過疎地域が安全・安心に暮らせる地域として健全に維持されるよう、引き続き総合的な過疎対策を充実・強化し、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

提出先

- 内閣総理大臣
- 総務大臣
- 財務大臣
- 農林水産大臣
- 国土交通大臣



意気込みを伺う！

町の課題が山積！

新副町長が就任



はなだ じゅん
花田 淳 さん(55歳)
(青森県平川市出身)



村岡町長を補佐してがんばります！

副町長に就任して

私は、約30年間国の職員として仕事をしてまいりましたが、今般、地方創生人材支援制度による派遣者として、初めて地方公共団体に勤務することになりました。派遣者としての私が果たすべき使命は、町の皆様と協働しながら地方創生の流れをつくり、大石田町に良い変化を起こしていくことです。少子高齢化や厳しい財政状況といった全国の市町村が同様に抱える問題に加えて、今般の新型コロナウイルスや不祥事への対応など、大石田町は今、大変な状況を迎えていることは承知しております。しかし「大変」とは、それを乗り越えれば「大きく変わる」ということです。「ヨソモノ」である私の視点と町の皆様の知識や知恵を組み合わせることで、この町がより良い方向に変化していけるよう全力を尽くしますので、どうぞよろしくお願ひします。

ふるさと応援寄附金積立金を増額補正

第1回 臨時会
1/30

議案第1号 令和元年度大石田町一般会計補正予算(第6回)

- ・ふるさと応援基金積立金…………… 1億円
- 【ふるさと応援基金積立金 総額3億5000万円】
- ・ふるさと応援寄附謝礼…………… 5000万円 ほか

道路除排雪業務委託料減額補正

第2回 臨時会
3/25

- 報告第1号 尾花沢市消防署大石田分署建築工事変更請負契約の締結に係る専決処分の報告
- 議案第26号 令和元年度大石田町一般会計補正予算(第9回)
 - ・道路除排雪業務委託料…………… △4000万円 ほか
- 議案第27号 大石田町特別職の職員等の旅費、費用弁償及び実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 同意第1号 大石田町副町長の選任について

趣味に生きる

横山地区 ^{くま}熊 ^{かい}谷 ^{かつ}克 ^み己 ^{さん}



- ▶ **職業「大工」**
趣味として寺院(三重塔等)の模型を作っている。
- ▶ **主な作品展示**
浄願寺、愛宕町公民館、ふたば保育園
- ▶ **妻と二人暮らし** ▶ **71歳**

大工になったきっかけ
訓練校を卒業し、姉の旦那に弟子入りし東京板橋へ。23歳で横山へ戻り自分の家を建てた。

記憶に残っている仕事
東根市に建築した103坪の平屋。船櫃(せんがいの)造りという寺院の軒先にみられる造りを施した建物。向川寺の屋根の反りを造る手伝いもした。

趣味を始めたきっかけ
5年ほど前に病気で入院。後遺症が残り大工の仕事ができなくなった。入院中、熊本地震で熊本城の天守閣が崩れている



完成した五重塔 (H30制作)

姿を見て、説明できない感覚になった。

その時、病室で牛乳パックを切り折り返し、小さな三重塔を完成させ、病室の人たちを驚かせた。

退院し本格的に模型作りに目覚め、県内外の寺院を見に行った。その時、何時間も見続けている自分に、笑顔で付き添ってくれたのが妻だった。

今後について
今作っているもので8作目。お盆までには完成させたい。次は京都へ行って南禅寺、知恩院を参考に三門(山門ではない)を作ってみたい。妻も乗り気なので、コロナの騒ぎが収まったらゆっくり観光バスで寺院巡りの旅をしたい。



完成まで3ヶ月はかかる

議員からについて
体力に自信がないという旦那さんから「サポートするから京都の寺院を見に行こう」と促す奥さんの優しさ、温かさが感じられる穏やかなご夫婦でした。

【記 小玉】

議会を傍聴しませんか

◆ 次回の定例会は ◆

6月3日(水)～6月9日(火)の予定です。

お気軽においでください。(議場は役場3階です)

お問い合わせ先 大石田町議会事務局
電話：35-2111《内線312》 FAX：35-2118

表紙の写真

4月7日異例な中、大石田中学校の入学式が行われました。新入生46名と保護者、教職員のみ、短時間の入学式となり、在校生もない、吹奏楽部の校歌演奏もない、全員マスク着用での入学式は、彼らの心にどんなふうに残るのでしょうか。一日も早くマスクを外した笑顔をみたいです。

編集後記

新年度が始まり、新入学生や新入社員を迎えフレッシュな春を迎えるはずでしたが、未曾有の新型コロナウイルスの流行で、日本のみならず世界中が大混乱しています。

当町においても感染症対策本部が設置され、町民の安全・安心を守るべく対応されています。

3月の卒業式や転任する先輩・仲間とのお別れが満足にできなかったのがとても悔やまれます。

新型コロナウイルスの早期収束といつも通りの日常が戻ってくることを切に願います。

【記 今野】

広報常任委員会

- 委員長 岡崎 英和
- 副委員長 小玉 勇
- 委員 二藤部冬馬
- 委員 今野 雅信
- 委員 大山 二郎